

憲法違反の「国葬」強行！物価高・社会保障改悪で庶民は生活苦！統一教会との癒着解明は待ったなし！



# 「岸田政権に異議あり！」

十月三日から臨時国会が開会しました。

参議院選挙が終わってから2か月、安倍元首相の国葬、コロナ対策、物価高、オリンピックの汚職をして統一協会との癒着問題など、国会で議論しなければいけないことが山積みなのに、岸田首相は、野党の国会要請にも耳を貸さず、放置してきました。「丁寧に説明する」といいながら、同じフレーズを繰り返すだけで国民の生活を蔑ろにしてきた「安倍政治」をそのまま受け継いだ政権です。

憲法違反の国葬の反対運動が広がり支持率は下がり、不支持率が上回っています。

「岸田政権に異議あり」と国会内外の連帯と行動で岸田政権を追いつめていきたいと思います。



憲法違反、民主主義をこわす

「国葬」をゆるさない！

国葬が行われた9月27日、全国で「国葬反対」の抗議集会がありました。札幌でも憲法共同センターや市民団体が主催し札幌駅南口で200人ほどの市民が集まり訴えました。

女性団体から新婦人道本部副会長（平和婦人会副会長）の鈴木さんが訴えました。

また9月12日には、伝法谷会長が、北海道知事と札幌市長に「公費による『国葬』出席は撤回を」と、市民団体と一緒に要望書を提出しました。

発行  
北海道平和婦人会  
〒060-0003  
札幌市中央区  
北3条西7丁目  
道庁別館 2F  
電話 011-241-0956  
第4号  
2022年10月26日



## 3年振り 第64回北海道母親大会開催される！

～オンライン併用で500人が参加～

10月としては、真夏日になった1日（土）に、コロナ感染拡大に伴い2年の休会を経て第64回北海道母親大会が開催されました。

オープニングは、北海道合唱団。1曲目の「もしあなたがここにいれば」は、核兵器禁止条約制定の国連会議に日本がいなかったメッセージソングでした。

活動報告では、北商連婦人部協議会の女性たちが壇上で「消費税は5%に」の横断幕を掲げ、元気をもらいました。オンラインで参加した「未来のための金曜日（FFF）」の16歳の角谷さんの

「気候正義の行動で私たちの未来を守って」との訴えが胸に迫りました。

記念講演は環境運動家でプロダイバーである武本匡弘さんの「海から見た地球」でした。海の温暖化で珊瑚の白化した写真など見てあらためて地球の悲鳴を見た思いでした。わかりやすく、ユーモアのあるお話で1時間があっという間でした。私たちが出来ることも具体的にお話してください大変勉強になりました（要旨2面）。

最後に「岸田首相への特別決議」を採択して閉会しました。

記念講演「海から見る地球」

（氣候危機も核兵器もない世界へ）

（要旨）

（講師） 武本匡弘氏

『氣候正義』（クラメイト・ジャッスティス）とは…

ダイビングをして45年。もぐって20年間は、美しい海でしたが、後半の20年で激変しています。1998年ころから珊瑚の白化が進み、瓦礫化し死に至ります。沖縄の海も10%は全滅。国連からも2024年までに珊瑚の白化が常態化すると予測。海にもぐって実感しています。

原因は氣候変動—海の温度が高くなっている—これは、生物多様性の喪失につながるし、台風の経路が変わり各地で被害をもたらしています。

6年前からヨットで航海プロジェクトの氣候危機の調査をしています。太平洋の島々は珊瑚でできているので、海面が上昇して家が流されたり、魚が取れなくなり命と生活が脅かされています。島民は、アメリカやオーストラリアに難民申請をしています。これを氣候難民といいます。どこに原因があるのか：CO2を誰かが

必要以上にだしているから。島の人は、車やエアコンなど多く使っています。ごくわずかの国が排出するCO2で難民になっている。だれかを犠牲にして成り立っている世界をやめることを「氣候正義」といい、これから何をするにも「氣候正義」を考えて行動してほしい。

太平洋を漂う

プラスチックゴミ

もう一つ見たくないものを紹介。ヨットで船も通らない太平洋の海を航海していると、浮いているのはペットボトルやビニール袋であり、調査したところ海はマイクロプラスチックが漂い、海底に何倍のプラスチックが沈殿し、どこまでいっても「プラスチックスープ」の海になっていたのです。その中には、洗濯から出るマイクロファイバーの糸くずもあります。プラスチックは1回つくと、再リサイクルしても石油を使います。それが、環境汚染になっていることを知ってほしい。

原発、核兵器、戦争準備から環境破壊がすすむ

戦争は準備段階から環境を破壊しています。訓練でジェット機を飛ばすと大量のCO2がでます。戦後

の処理でも環境破壊がすすみます。アメリカは、ベトナム戦争の枯葉剤のダイオキシンをコンクリートで固めて日本の山に埋めています。九州の山では、この間の大雨で流れ出るところでした。また、マーシャル諸島の核実験で空いた穴に核のゴミを捨てているのです。その島が温暖化で沈む危機にあり、もし沈んでしまうと、チェルノブイリの1000倍以上の放射能が海に流れだす可能性があります。

日本の原発も稼働するだけで7度高い海水を海に流しています。また、海水を取り入れる管に貝が付着しないように薬を使ってそれも流して海を汚しているのです。

環境も人権も平和も全部一緒に考えることが必要です。

『氣候正義』のため私たちができることは

生活の中からもなるべくプラスチックを使わないように、日本ではじめてプラスチックフリーのお店をひらきました。また、子どもたちも参加できる学習会やセミナーも開いています。子どもたちに、大人が自分で意見を言うところを見せて、意見をいう子どもにも育てる。そうす

ると、学校でストローをやめさせた子や、過剰包装をやめたとスーパーにいう子どもがでてくる。生活者が世界をかえると、「声をあげるのが大事だ」と教えるのです。そして高校生には、できることとして「選挙に行つて、氣候政策をもった政党に入れること」と言っています。

だれかを犠牲にする社会や資本主義の社会が、この氣候危機を作っているのだと若者が気づき始めています。今、人類は深刻な2つの危機、氣候危機と平和危機に直面していますが、一緒にやりましょう。なかなか政治が実現しないことがあつて若い人は希望を失っています。でも、大丈夫。過ちに気づきなおしていくのも人類です。英知を結集すれば実現する。希望をもちましょう。知ることが希望です。ここから行動に移していきましょう。



## 伊藤千代子のロケ地をたどる

### 長野平和と文化の旅

【10/5〜8の3泊4日の旅】

道内各地からの参加者24名は、一路丘珠空港から松本空港へ。空港では、地元「歴史の里」解説員の祖父江さんと合流し、松本市内のロケ地をめぐるしました。「歴史の里」は旧松本裁判所跡地で製糸工場や刑務所が保存されています。千代子たちが獄中でうたった「赤旗の歌」が聞こえてくるようでした。あがたの森、国宝松本城などを見学。

### 二日目

満蒙開拓平和祈念館訪問。三沢事務局長からのお話の後自由見学。長野県は満蒙開拓団出身県別でトップ。次男三男など土地をもたない家族を27万人満州に送り出しました。国策で安く中国の土地を買い、中国人を追い出し「満州国」をつくるが、1945年8月9日、ソ連軍の侵攻で満州は戦場化し、終戦後も飢えと寒さで大勢が死亡。その事実を後世に伝えたいと話されました。午後から「伊藤千代子ころざしの会」の藤森さんの案内で千代子の墓と顕彰碑を訪問。高台からは千代子を通った諏訪高等女学校と諏訪湖が見下ろせます。顕彰碑には土屋

文明が詠んだ「ころざしつたふれし少女よ…」と刻まれています。

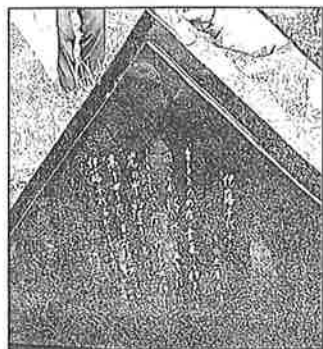
### 三日目

無言館を訪問。入り口すぐ脇にドラマで紹介された「日高安典」氏が描いた裸婦の絵があります。どの絵も「もつと描きたかった」の声がかきこえてきそうです。窪島館主との懇談をしました。

午後からは、長野美術館、善光寺、宿坊「薬王院」での座禅・写経の体験をしました。

### 四日目

「安曇野ちひろ美術館」の見学。学芸員からのスライドトーク。ゆつくりと野外の公園を散策。わさび園でお買い物をして札幌に。全員無事に丘珠空港に到着しました。



伊藤千代子の顕彰碑



写経を体験!

## 【アンケート・感想文から】

★祖父江さんの名司会で市内のみずみまで知り尽くしている様子に感心しました。伊藤千代子のロケ地の「庭の石」路地裏での話し合いなどとてもリアルで良かったです。松本市民の存続活動で明治から昭和の事など具体的に見ることが出来て松本市をあらためて見直しています。

★地域の歴史と文化が生んだ独特の存在感を持つ「長野」を感じる旅でした。百姓一揆や公民館活動と住民自治など、先人のはぐくんだものを活かした営みが継続しているのだと思いました。

★伊藤千代子のお墓と顕彰碑を間近で観ることができたことが一番強烈に残りました。地元の方々が情熱をこめてその活動に参加していることも合わせて感銘をうけました。満蒙開拓平和記念館は長野の方々の平和への熱い思いが胸にせまりました。

★阿智村駒場は義父のふるさとでした。満蒙開拓記念館があることは知りませんでした。平和への思いを、この歴史を風化させてはいけません。

★満蒙開拓から避難の苦渋の体験

は、妻の母などから聞いていたのでこの記念館の展示や説明に改めて「帝国日本」の非道さを痛感した。語り継ぐため、この館の役割は重要だと思ふ。

★無言館ははじめての見学でしたが、展示室では初めてではないホッとするような不思議な感覚がありました。

★今の情勢と重なり、4日間が一つにつながった、とてもいい旅になりました。20代から女性団体で専従活動をしてきた締めくくりと改めての「出発」への背中をたたかれました。4日間。平和婦人会と旅システムに心からの感謝。

★地元の方に説明を聞きながらの見学はとても勉強になりました。地元の歴史的建造物の存続活動で見事存続が実現しそれが国の重要文化財に！快挙ですね。満蒙開拓団での語り部の話に戦慄がはりました。

★無言館では、戦後77年も経っているのに、絵を見ると当時生きていた青年たちが今生きて絵を描きたい、と訴えているようでした。理不尽な死に方、生きた時代が悪かった、割り切れない気持ちになりました。

この間の活動報告

★22年「女性の権利デー」宣伝

7月25日、さっぽろ駅前南口広場で「女性の権利デー」宣伝行動を行いました。

伝法谷会長は、「80代の先輩は寿退社や25歳定年制に反対の声をあげる」と『女のくせに』と言われて悔しい思いをしたが、それでも女性たちは会社とたたかって改善させてきました。「今、選択的夫婦別姓制度賛成は多くの女性たちの声です。女性の権利を国際基準にするため、いっしょに声をあげていきましょう。」と訴えました。

参加者は少なめでしたが、興味深い様子で見ている人が何人もいました。



〈第69回北海道平和婦人会総会〉

【日時】 12月3日(土) 13:30~

【会場】 かでる2・7 730 研修室

講演会

憲法も閣議決定で変えてしまうおつもりですか!?

~政治の憲法違反にもの申す!~

講師: 弁護士 神保 大地氏 (さっぽろ法律事務所)

◎参加希望の方は、平和婦人会までご連絡ください。

(第1部)  
13:30~14:30  
学習会

(第2部)  
14:40~15:45  
総会

ウクライナ侵攻やめよ! 軍事費2倍とんでもない!

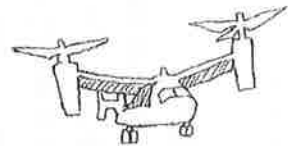
「2022年平和を守る母親全国連鎖行動」

【とき】 12月8日(木) 12時15分~

【場所】 札幌駅南口広場(予定)

\*各団体からのスピーチ、赤紙を配ります。

詳しくは、後日団体へチラシ送ります。



北海道の空にオスプレイが飛んでいます!  
この間の日米共同軍事訓練のため、丘珠自衛隊駐屯地を拠点に飛んでいます。先日Hの自宅上空に、日中2機、夜7時ころ1機不気味な音をだしながら低く飛んでいました。なぜ、憲法9条のある日本で戦争に使う飛行機が飛ぶのでしょうか。

危険なオスプレイはいらない!

静かで安全な青い空を子どもたちに手渡そう!

【平和婦人会からのお願い】  
◎賛助会員を広げてください。

北海道平和婦人会は、創立69年を迎えます。平和婦人会を支える賛助会員を広げてくださいますようお願いいたします。  
賛助会員は、年間一口2千円、何口でも可。「平和ふじん」ニュースを年4回お届けします。